

## 神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	神戸 2025 ビジョンについて
調査期間	令和 2 年 7 月 23 日（火曜）～8 月 3 日（月曜）
設問数	全 8 問（分岐設問除く）
対象モニター数	4,911 名
回答モニター数	2,908 名（59.2%）

### 【調査結果概要】

神戸市では、人口減少を抑制し、魅力あふれる都市として発展していくため、総合基本計画の実施計画として、5年後の目指す姿やまちづくりの方向性を示す「神戸 2025 ビジョン」の策定を進めています。

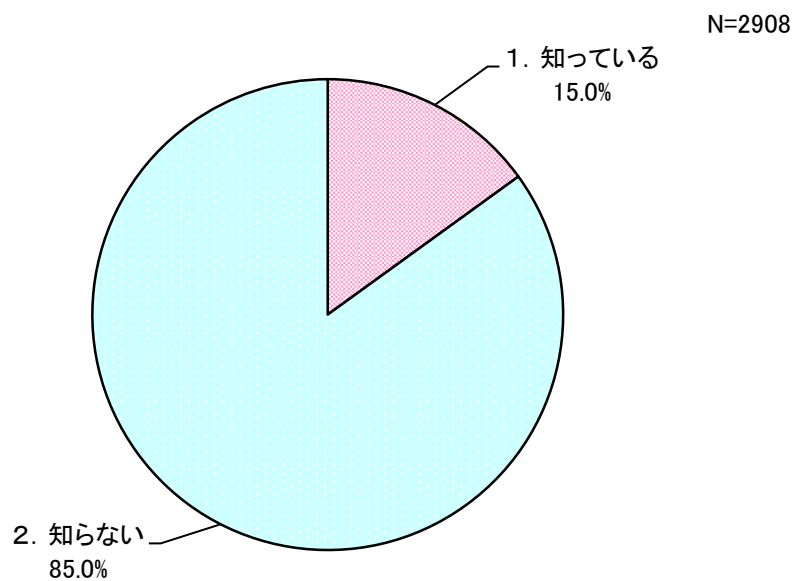
このため、ネットモニターの皆様に、現行の「神戸 2020 ビジョン」の取り組みに対してご評価いただくとともに、神戸のまちの将来像や、5年後に向けて必要な取り組み等についてご意見をいただきました。

「神戸 2020 ビジョン」の取り組みに対する評価について、「結婚・出産・子育て・教育を優先できる社会システムづくり」に成果を感じている方や、反対に取り組みが足りないと感じている方がいらっしゃいました。また、「若者に魅力的なしごとづくり」に取り組みが足りないと評価される方もいらっしゃいました。

5年後に向けて必要な取り組みについて、「感染症の拡大防止と市民生活や経済活動の維持・回復の両立」「災害に強いまちづくり」「子育て環境の充実」「企業の誘致、雇用促進」「神戸への移住・定住の促進」「まちのリノベーション」といった分野に多くのご意見をいただきました。

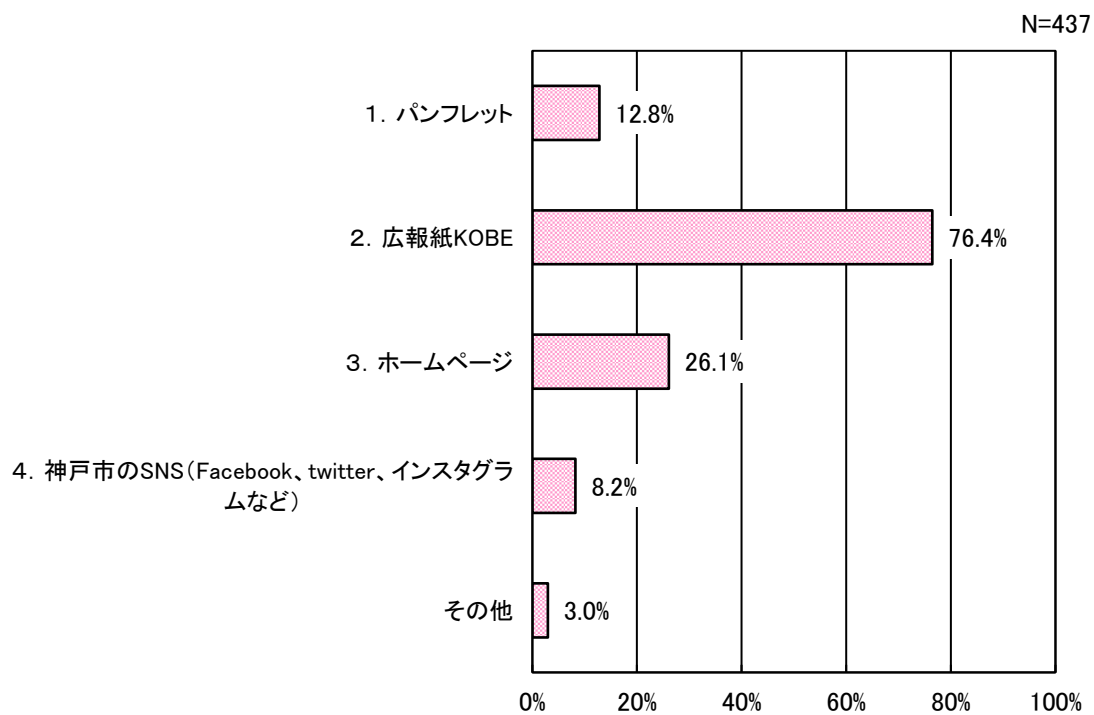
いただきましたご意見を踏まえ、引き続き「若者が選ぶまち」「誰もが活躍するまち」の実現に向けて取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の市民生活や社会経済情勢への影響を鑑み、ゆとりあるライフスタイルや、都心から近く、恵まれた自然環境など神戸の魅力的な地域資源を活かし、「人」「自然」「創造」をキーワードに、「神戸 2025 ビジョン」の策定を進めてまいります。

問1 神戸2020ビジョンをご存知ですか



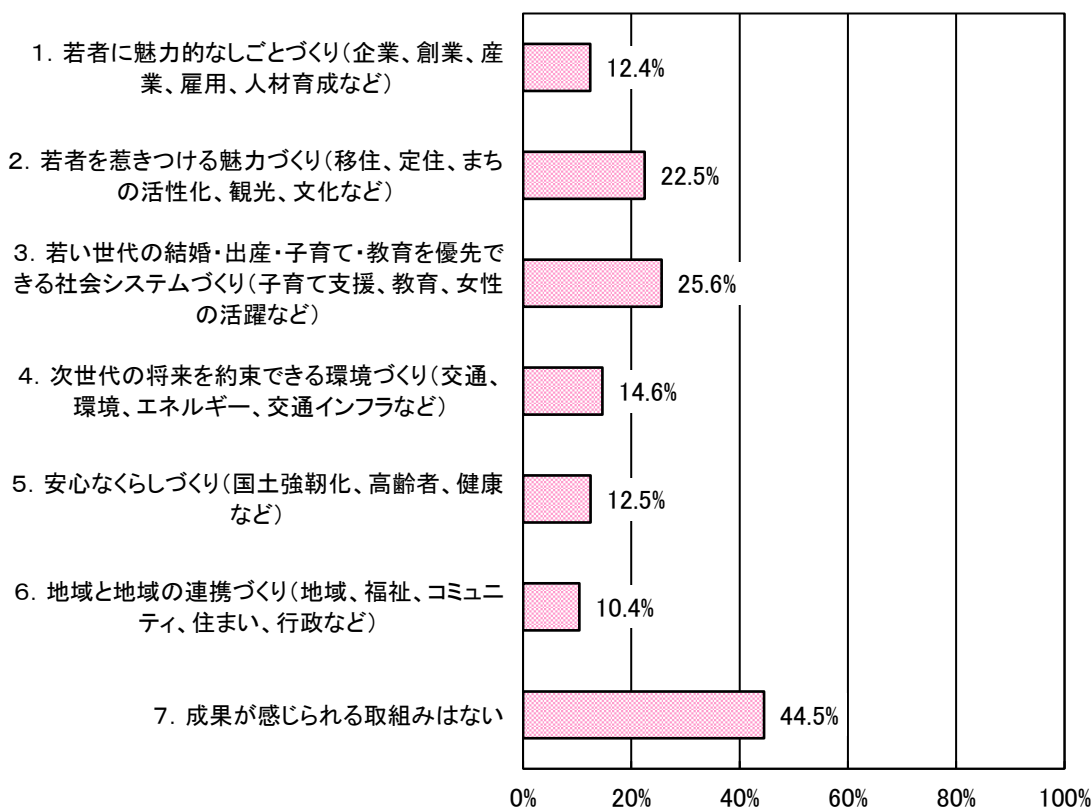
<神戸2020ビジョンをご存知の方>

問1-2 神戸2020ビジョンについて、何でお知りになりましたか



問2 「若者に選ばれるまち」「誰もが活躍するまち」に向けて神戸市が進めてきた取組みの柱のうち、取組みの成果が感じられるものを選んでください。

N=2908

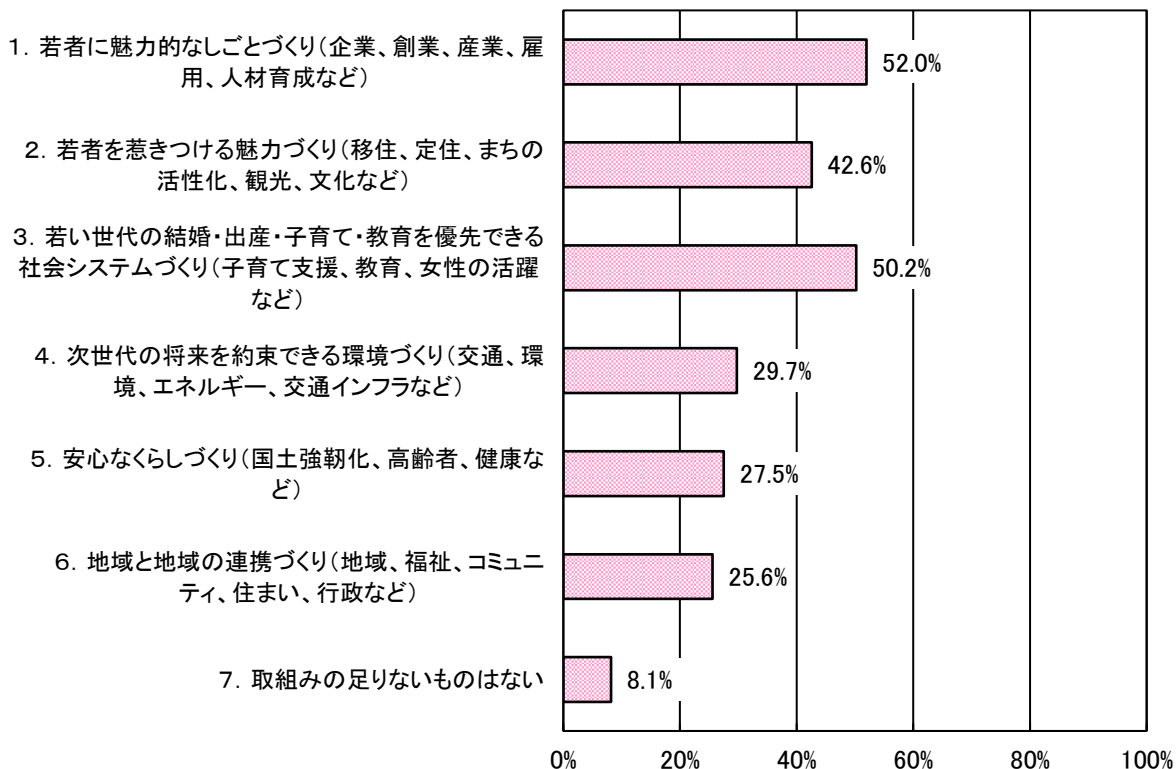


問3 取組みの成果が感じられるものについて、その理由を教えてください。

- ・若い人たちの起業などが活発になり、若い層向けの施設や店が活性化して街で若い人々をより多く見かけるようになった。
- ・待機児童を無くすために保育園を建設したり、子育て情報のサイトを作成したりとここ最近子育てに力を入れているのを感じる。
- ・不妊治療の補助金制度ができたり、こどものお祝い品がもらえたりする。予防接種アプリも活用しており便利。母子手帳もファミリアで可愛く、中身も使いやすく良い。
- ・北神急行市営化が北区住民や観光客へ利用促進となる可能性があり、今あるインフラを最大利用できるようにする良い政策だった。

問4 「若者に選ばれるまち」「誰もが活躍するまち」に向けて神戸市が進めてきた取組みの柱のうち、取組みが足りないと感じるものを選んでください。

N=2908

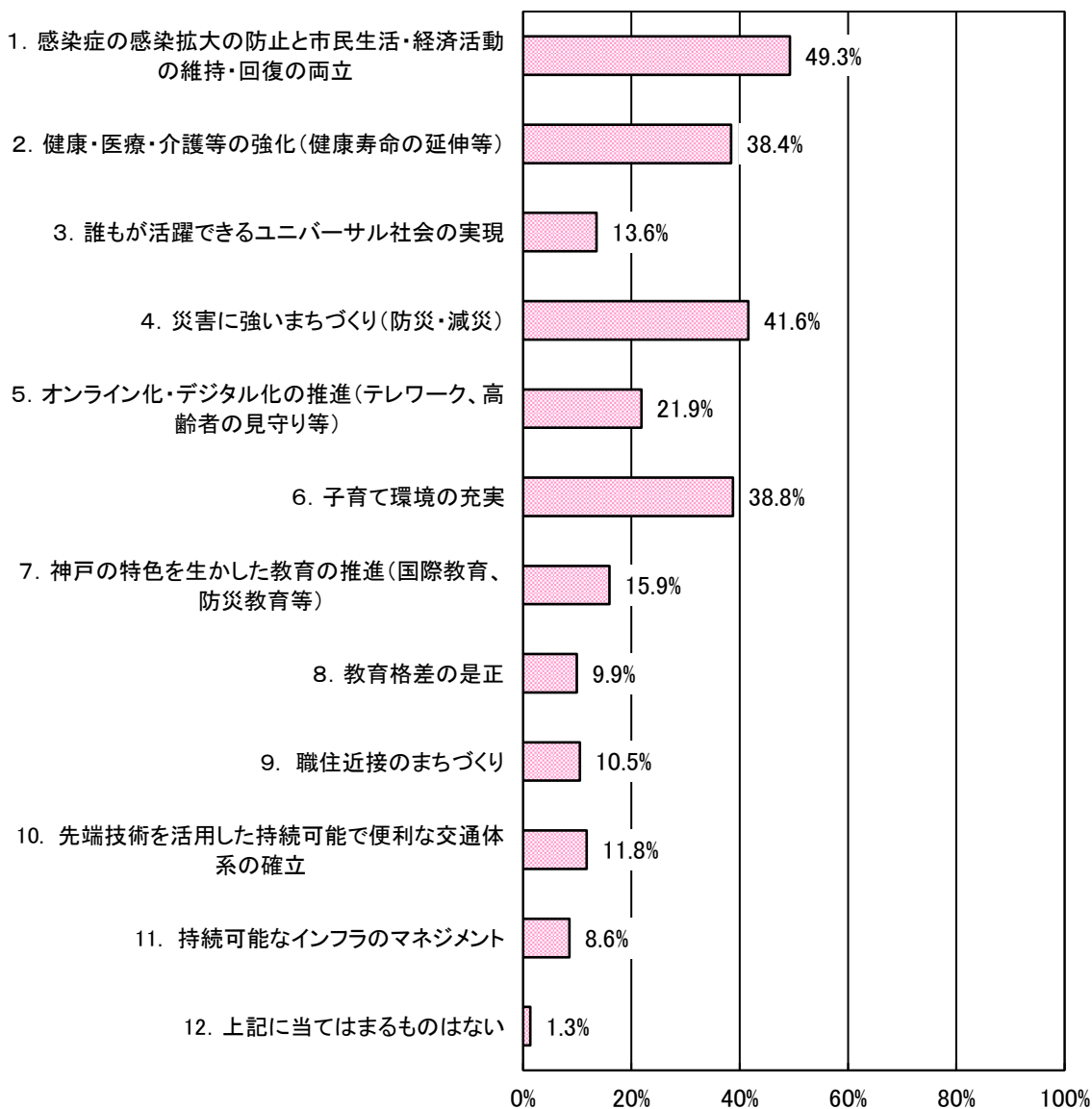


問5 取組みが足りないと感じられるものについて、その理由を教えてください。

- ・神戸の工場や企業が撤退して、確実に兵庫港方面の会社が減っている。また、神戸市に住んでいても明石市が魅力的に感じ、神戸が負けている気がする。
- ・やはり産業。就職から結婚、子育ての世代を引き付ける産業が神戸にあるかという、まだまだ心もとない。医療産業都市と富岳を中心としたITで何とか巻き返したい。今のままでは学校は神戸で、就職は東京や大阪で、という従来の路線から脱却できない。
- ・「異国情緒」から離れず、観光がいつまでも異人館や旧居留地、ハーブやスイーツであることがすでに時代遅れと感じる。
- ・周辺都市に比べ、乳幼児の医療費がかかる。教育では、ニュースになるような問題が多すぎる。神戸はインターナショナルスクールが多いのに市立小学校の対応に柔軟性がない。
- ・子育て世代に対して、殆ど支援が感じられない。こども医療費や児童手当など。中学生の給食はこどもたち自身が満足できていない。公園の遊具もボロボロ、最近では雑草も生え放題でいい環境とは言えない。

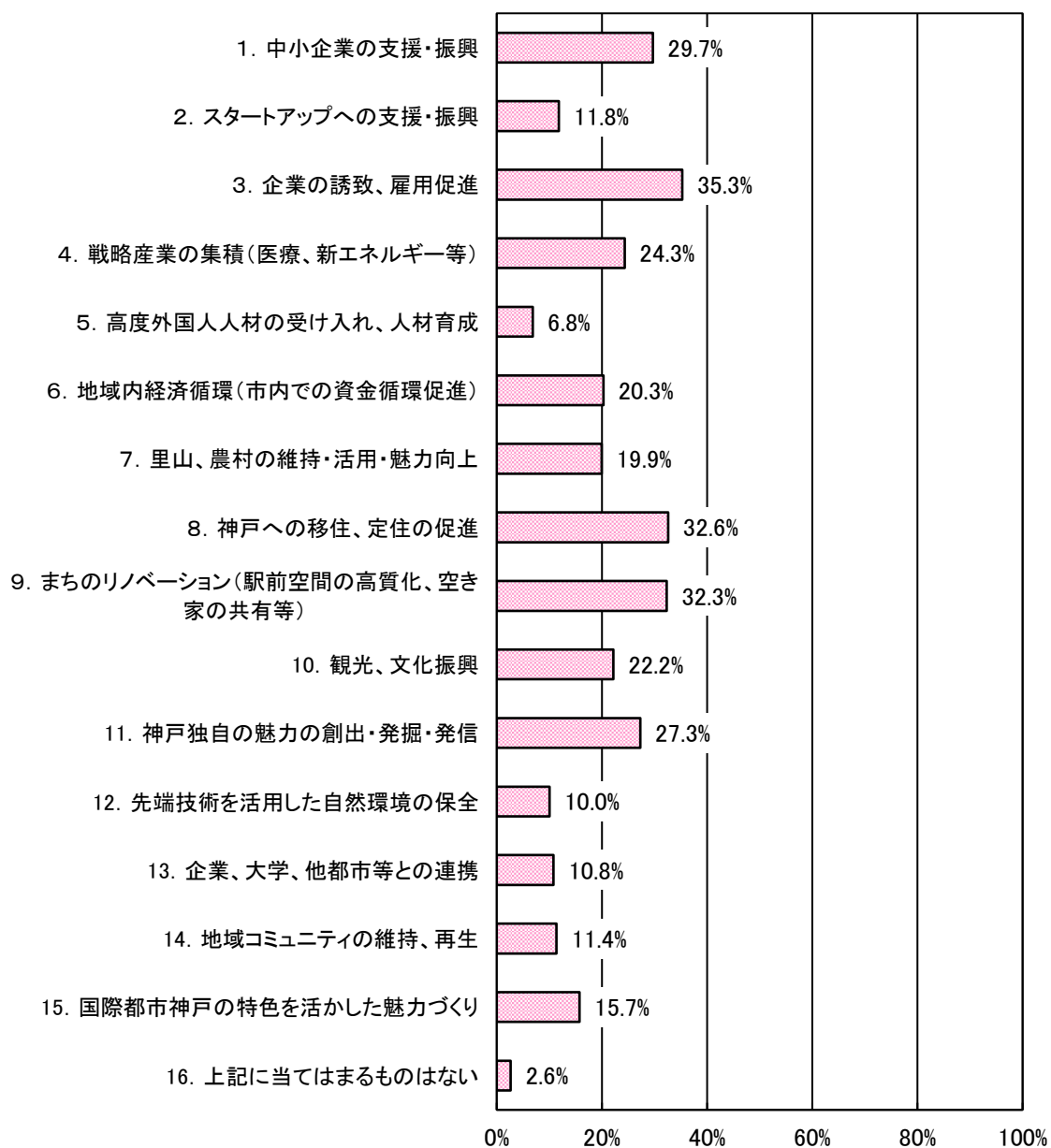
問6 2025年に向けて、神戸市はどのような取組みを重点的に進めていくべきか、3つまで選択してください。

N=2908



問7 2025年に向けて、神戸市はどのような取組みを重点的に進めていくべきか、4つまで選択してください。

N=2908



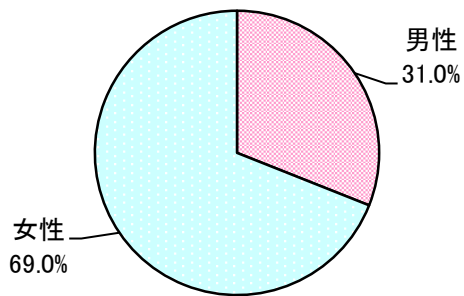
問8 2025年に神戸市にどのようなまちになってほしいですか。

- ・昭和や平成の頃のような雰囲気でもたらしめず、実際にそこに居住している人が幸福感を感じることでできる実質的で健全な街を望む。
- ・子どもがのびのび成長できる街。児童館や公園の整備、待機児童解消に尽力してほしい。医療費や教育費の支援で明石市に負けてたら、若い子育て世代は出て行ってしまう。周囲に実際引越した家庭が複数いるが、生まれ育った神戸に住み続けたい思いもあり悩んでいる。
- ・神戸市の中で海側と山側で力の入れ具合が違うように感じる。田舎でも便利で暮らしやすい町であって欲しいです。
- ・もっと外国人のいる環境的メリットを活かせばいいのに、保守的すぎると思う。挑戦して新しいことに取り組んでいる行政であってほしい。
- ・便利さや生産性中心ではなく、自然を中心とした街づくりに取り組んでもらいたい。多種多様であり、心の安らぐライフスタイルの定着する、全国にない、独自性、唯一無二の街づくりを期待する。
- ・三宮付近に関しては車より人が移動しやすい環境づくりをこれからも続けてほしい。若者も高齢の方も誰もが暮らしやすい医療や生活サービスが充実した空間と、資源や人材が循環してより暮らしやすい、先進的な他のまちのモデルとなるような都市になってほしい。
- ・住むのにも働くのにも均等のとれた街
- ・住むこと、働くこと、余暇をコンパクトに楽しめるまち。

全1,294件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

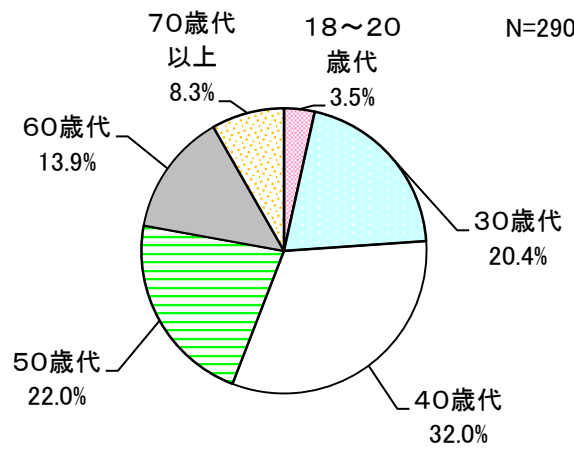
【性別】

N=2908



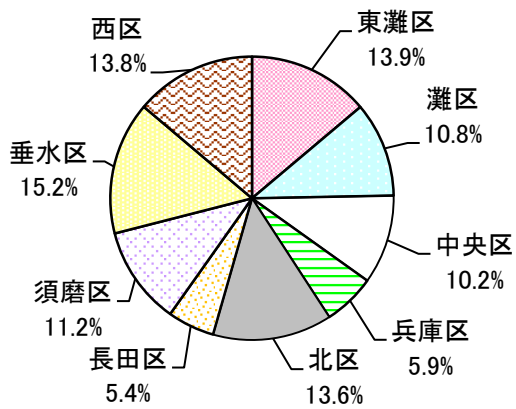
【年代】

N=2908



【居住区】

N=2908



【職業】

N=2908

